

今年度も地域一斉清掃奉仕をおこなう！＜白川地区まちづくり協議会＞

白川地区まちづくり協議会 会長 廣森 祐一

この地域は亀山市の北西部に位置し、上白木、下白木の白木地区および小川地区の3つの自治会人口730人からなり、弊地区まち協はこの3自治会、この他に子ども会、婦人会、老人クラブおよび愛好会等の団体に構成され、例年6月の第1土曜日に地域美化を目的に清掃や草刈りを中心に『地域一斉清掃奉仕』活動を行っています。

今年度も6月4日(土)に新型コロナウイルス感染対策のもと地域の公民館や公園等の公共場所、神社、通学路、小学校の体育館等を対象に清掃、草刈りを総勢約120名で行いました。中でも白川小学校の児童からなる「子ども会」は神社の清掃を担当、僅か50名足らずの子どもたちですが、地域にとっては大切な「宝物」、子どもたちにとっては「奉仕」の気持ちが伝えられる良い機会となっています。亀山市で唯一の小規模特認校であり、通学区域外からの入学、転学が認められています。元気に登下校する子どもたちの姿を見て地区住民はとて元気をもらっています。

昨今、世の中ではSDGs活動が活発に行われて

いますが、弊地区まち協でも今年度より「白川版SDGsの基盤づくり」と称して、子どもから高齢者まで住民の誰もが笑顔で生活し、豊かに暮らし続けていけるよう取り組んでいくことを申し合わせました。この地区は高齢化が進み、高齢化率39.5%(R4.3)と亀山市の平均26%を大きく上回っています。特に17の目標のなかでも目標11番目の安全・安心な「住み続けられるまちづくり」を目指していかなければならないと考えています。

